

第33回

10 覧会展 -TENRANKAI-

後期: 8/25(木) ~ 8/30(火) 11:00-19:00(最終日は16:00まで)



画像・イラスト等の保存・転載・無断利用はお断りします

阪口 敬子

SAKAGUCHI KEIKO 沖縄の染織技法『紅型』の作品。多彩な色を使い鮮やかに染められ、細部やグラデーションも美しく表現されている。異なる展示の方法によりまた違う印象を楽しめる。



桂 千草

KATSURA CHIGUSA

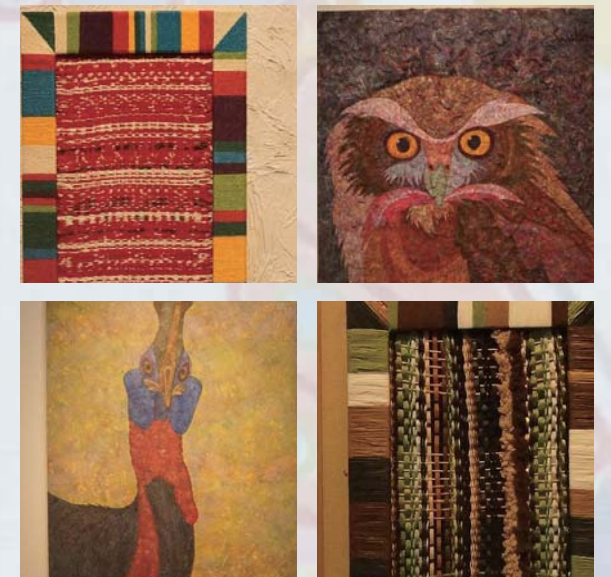
細部まで細やかに重ねられ作られた、青年の顔。笑顔が可愛らしいテラコッタの鉢、ちいさな玉子、小鳥などほっこりとさせる作品たちがやわらかな空気を醸し出している。



松井 寿美子

MATSUI SUMIKO

絵具の質感や、層を作ることにより力強い表現がされている鳥の絵画。中はシンプルな色使いの織、フレームの部分には多くの色を使い、色のバランスを楽しめる作品。



片山 博子

KATAYAMA HIROKO

近い色相の黄色や緑などを使って描かれた、揺らめきのような中にエネルギーを感じる事ができる作品と、隣には小さな丸額に収められてかわいらしい植物の作品を展示。



松元 万知子

MATSUMOTO MACHIKO

爽やかな色を使い、水彩の柔らかな表現。滲み、色の重なりなど水彩の楽しさが伝わる抽象作品。地図に見えたり、窓に見えたりと見る度にいろいろな発見がある。

